

二〇二六（令和八）年度 金沢学院大学大学院

入学者選抜試験問題（二期）

二〇二六年二月二十一日（土）実施

人文学研究科人文学専攻 修士課程

（日本語・日本文学コース）

# 小論文

## 注意事項

- 1 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 解答は、解答用紙に書きなさい。
- 3 問題冊子・解答用紙に受験番号・氏名を記入しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子・解答用紙を回収します。

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 氏名   |  |

第1問 後の問いに答えよ。

問一 次の言葉の中から2つ選んで、簡潔に説明せよ。

- 1 八行転呼音
- 2 言文一致
- 3 上代特殊仮名遣い
- 4 経国集
- 5 白樺派
- 6 読本

問二 仏教説話集のジャンルに入る作品を一つあげて、その内容や文学史的意義など、知るところを記せ(解答欄が足りない場合は、裏面に続きを記入する  
こと)。



第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の二次利用権許諾を得ていないため、表示しておりません。

著作権の二次利用権許諾を得ていないため、表示しておりません。

問一 右の文章は、「心境小説」を命名した、ある作家の文章である。その作家名を答えよ。

問二 著者が主張する「イヒ・ロマン」と「私小説」の違いを、「語り手」という語を使って、簡潔に説明せよ。

問三 明治四〇年、四一年に発表された田山花袋「蒲団」が、「私小説」の嚆矢とみなされているが、その理由を述べよ。

問四 私小説作家と考えられる作家を三名挙げよ。

問五 昭和二年に、「饒舌録」という文章で、この主張と対立する意見を述べた作家の名を答えよ。

問六 問五の作家と論争した作家の名を答え、その論争の内容を簡潔に説明せよ。

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 年度       | 2026年度            |
| 研究科      | 人文学研究科            |
| 課程       | 修士課程              |
| 専攻・コース等  | 人文学専攻 日本語・日本文学コース |
| 試験科目     | 小論文               |
| 実施日（試験日） | 2025年2月21日        |

#### 解答又は解答例及び出題意図

今次の当該試験科目は大問二題を出題した。学士課程レベルの学力を有し、日本語学、日本語史および日本文学の歴史や研究史関する基本的な事項を修得しているか、自身の研究学術的活動の基礎として、的確に位置づけられているか問う目的であった。以下、設問ごとに採点時の観点を記す。

#### 第1問

##### 問一

- ①日本語学、日本語史、日本文学史についての基本的な用語の意味を正確に理解しているか。
- ②それらの用語が持つ歴史的な背景、意義を正確に理解しているか。
- ③それらの用語の具体的な例についても把握しているか。

##### 問二

- ①日本古典文学のジャンルや文学史的意義について正確に理解しているか。
- ②具体的な例を挙げながら論理的な説明ができているか。

##### 問三

- ①基本的な変体仮名を読み取ることができるか。

#### 第2問

- ①日本近代文学史の基本事項を正確に理解しているか。
- ②作品分析の重要概念を理解しているか。
- ③具体的な例を挙げながら論理的な説明ができているか。

#### ■出題意図

本学大学院人文学研究科日本語・日本文学コースのアドミッションポリシーを踏まえ、以下の点をはかる意図で出題した。

- (1)日本語学、日本文学に関する専門知識を有し、かつその知識を自らの研究において有効に位置づけられているか。
- (2)文学史、研究史における論争の背景、要因を理解し、その今日的な意義について考えているか。
- (3)問題意識を常に持って、既知のことがらの新しい意味を見出そうとしているか。